

平成28年産水稻の生育状況について（7月11日現在）

1 生育概況及び今後の管理

- 7月11日現在，県内生育調査ほのほとんどの地点で幼穂が確認され，幼穂長の平均は3.7mm（平年差+1.5mm）となり，幼穂形成期*¹（県全体の平均）は7月7日頃と見込まれ，平年に比べ2日程度早まっている。今後の気温が平年並みで推移した場合，出穂期（県全体の平均）は8月2日頃になる見込みである。
- 生育については，草丈が62.6 cm（平年比103%），1㎡当たり茎数が526本（平年比94%），葉数が10.9枚（平年比+0.1）であった。
- 本年における県平均の減数分裂期*²は7月16～22日頃と見込まれ，低温の警戒情報が発表されているので，今後，平均気温20℃以下または最低気温17℃以下となる場合は，幼穂を保護するための深水管理（20cm以上が望ましい）を徹底するよう指導している。
- 斑点米カメムシ類の発生は平年並み*³となっているが，斑点米による等級低下を防止するため，本田周辺の牧草地等の草刈りは7月20日までに，水田畦畔の草刈りは水稻の出穂10日前まで（平年は7月26日頃）に終えるよう指導している。
- いもち病の箱施用剤や予防粒剤の効果が低下し始める時期であり，ほ場をよく観察し，葉いもちの発生が確認された場合は直ちに茎葉散布剤で防除するよう指導している。

※1：幼穂形成期（ようすいけいせいき）

「幼い穂」が稲の茎の中でつくられ，1mm以上の長さになった時期で，出穂（しゅっすい：穂が出ること）の25日前頃である。

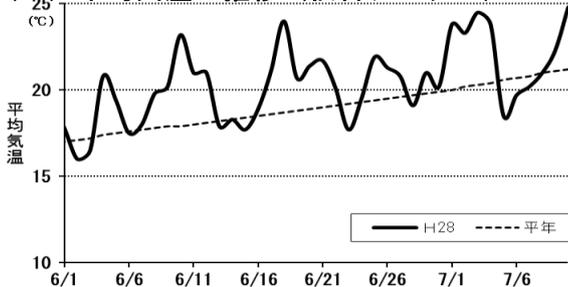
※2：減数分裂期（げんすうぶんれつき）

「幼い穂」が3～12cmの長さになった時期で，出穂の11～17日前頃である。低温の障害を受けると最も減収しやすい時期である。

※3：県病害虫防除所の「平成28年度発生予察情報 発生予報第6号（7月7日発表）」による。

2 具体的データ

(1) 平均気温の推移（仙台アメダス）



(2) 旬別の気象データ（仙台アメダス）

	平均気温(℃)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	平年差	平年比	平年比	平年比		
5月	17.0	2.0	87.5	80%	208.1	112%
6月上旬	18.9	1.3	3.0	9%	79.7	142%
中旬	20.2	1.7	50.5	108%	40.6	91%
下旬	20.3	1.0	104.0	159%	31.6	95%
6月	19.8	1.3	157.5	108%	151.9	114%
7月上旬	22.2	1.6	39.0	64%	29.9	87%

(3) 生育調査結果

a. 県全体

県全体	草丈			茎数			葉数			葉緑素計(GM)値			幼穂長(mm)		
	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
	(cm)	(%)	(%)	(本/㎡)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)						
	62.6	106	103	526	96	94	10.9	0.1	0.1	38.8	1.8	1.1	3.7	0.2	1.5

b. 地帯区分別

地帯区分別	草丈			茎数			葉数			葉緑素計(GM)値			幼穂長(mm)		
	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
	(cm)	(%)	(%)	(本/㎡)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)						
北部平坦	62.7	106	103	559	100	96	10.8	0.2	0.0	38.0	1.1	0.1	2.8	▲0.1	0.9
南部平坦	68.1	104	105	472	86	87	11.0	▲0.4	0.0	36.8	3.8	1.3	13.2	▲4.0	8.8
仙台湾沿岸	63.6	111	(109)	495	98	(106)	11.2	0.4	(0.6)	40.5	2.5	(0.0)	4.1	2.1	(3.5)
西部丘陵	61.8	102	101	496	93	94	10.9	0.1	0.0	40.6	2.9	3.2	3.4	▲1.6	0.5
三陸沿岸	55.8	98	100	496	78	82	10.9	▲0.0	0.3	36.7	0.1	0.3	1.1	▲1.4	—

c. 品種別

品種別	草丈			茎数			葉数			葉緑素計(GM)値			幼穂長(mm)		
	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
	(cm)	(%)	(%)	(本/㎡)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)						
ひとめぼれ	62.1	104	103	494	93	91	10.9	0.1	0.2	38.7	1.1	0.6	4.4	0.3	1.7
ササニシキ	62.7	110	106	608	103	100	10.9	0.3	0.1	38.0	2.5	1.4	1.8	▲0.1	0.7

※平年比・平年差：前5ヶ年（平成23年～27年）の平均値との比較

※b. 地帯区分別の仙台湾沿岸の平年比・平年差の値（ ）は，調査ほ場の変更によりサンプル数が少ないことから参考値として表記。

※次回は7月20日現在の調査結果を7月21日発表予定です。